

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度 第2回所沢市立所沢図書館協議会
開 催 日 時	平成28年11月9日(水)午後1時30分~午後3時20分
開 催 場 所	所沢市立所沢図書館 3階集会室
出 席 者 の 氏 名	鈴木 勢津子、宮井 俊充、道又 一枝、笹島 千代子、 風間 俊克、工藤 恭子、及川 道之、植月 恵一郎、 保崎 則雄
欠 席 者 の 氏 名	喜多濃 定人
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	協議事項 (1)所沢市の図書館運営について (2)その他 報告事項 (1)指定管理者選定の進捗状況について (2)利用者懇談会等について (3)その他

<p>会 議 資 料</p>	<p>(1) 会議次第 (2) 所沢市立所沢図書館協議会委員名簿 (3) 図書館法（抜粋） (4) 各グループの業務内容 (5) 主要統計数値の年次推移 (6) 図書館利用案内 (7) 赤ちゃんにえほんを0才～2才 (8) としょかんのつかいかた (9) ほんがいっぱいよんでみよう！ 1・2年生 3・4年生 5・6年生 Teen ' S (10) ほんのもりのトベア 11月号 (11) どくしょてちょう (12) 図書館利用案内～乳幼児をもつ保護者の方へ～ (13) さんとく 1～10 (14) 出張！おはなし会 (15) 発達障害関連図書 (16) 大活字本リスト (17) 高齢者向け紙芝居リスト (18) 高齢者ケアに役立つ本～レクリエーション編・健康編～ (19) 所沢市立所沢図書館フロアガイドA3 (20) 第17回としょかんまつりのご案内 (21) 第16回所沢図書館まつり（報告集） (22) 第2次所沢市子どもの読書活動推進計画・【概要版】 (23) 所沢市図書館ビジョン (24) 所沢の教育（平成28年度） (25) 図書館要覧（平成28年度）</p>
<p>担 当 部 課 名</p>	<p>教育長 内藤 隆行 教育総務部長 美甘 寿規 教育総務部次長 師岡 林 図書館長 中村 まさみ 主査 坂牧 厚子 主査 多辺田 幸子 主査 小澤 朋子 主査 吉松 政子 主査 倉片 いくみ 主任 澤田 孝</p> <p>担当部署 教育総務部 所沢図書館 電話 2 9 9 5 - 6 3 1 1</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>図書館長</p> <p>教育長</p> <p>会長</p>	<p>1 開 会</p> <p>2 委員任命 内藤教育長より、出席した 9 名の委員に委嘱状を交付した。 任期については、所沢市立所沢図書館設置条例第 1 2 条第 4 項の規定により 2 年となっており、平成 3 0 年 8 月末日まで。</p> <p>3 あいさつ お忙しい中、図書館協議会にご出席いただき、また、このたびは、図書館協議会委員に快くお引受けいただき、大変ありがとうございます。この協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応じて戴くとともに、図書館の行う「奉仕」について、ご意見を頂戴する会でございます。委員の皆様方のご助力を賜りますよう、お願いします。 さて、図書館も近年では、少子高齢化の進行や高度情報化の発展など、社会環境の著しい変化に伴い、これまでの図書の閲覧や貸出といったものから「地域の情報拠点」としての役割が求められてきております。 こうした中、所沢図書館では、市民文化の創造と発展を支える地域の情報拠点となることを目指し、市民サービスの向上に努めております。本市では、平成 2 4 年度から分館運営に指定管理者制度を導入していますが、お陰をもちまして、良い成果をあげております。本日の会議では、図書館の状況をご報告させていただき、「所沢市の図書館運営」について、皆様から忌憚のない御意見を頂戴したいと存じます。</p> <p>委員自己紹介 事務局自己紹介</p> <p>4 会長及び副会長選出 互選により、会長に及川道之委員、副会長に工藤恭子委員を選出。会長及び副会長のあいさつのあと、議事に入る。 これより、議事の進行は、及川会長が行った。</p> <p>協議に先立ち、会議の公開についてだが、規定により原則公開となっている。この会議について公開としてよろしいか。</p>

<p>図書館長</p>	<p style="text-align: center;">委員了承 (傍聴者入室)</p> <p>会議録署名人は風間委員、道又委員とし、記録方法については、要点筆記とすることを確認して協議に入った。</p> <p>配付資料について事務局で確認を行った。</p> <p>5 議事 (1) 所沢市の図書館運営について 図書館の概要について説明させていただく。 平成27年度の実績では、全館の蔵書冊数は約97万冊、利用登録者数は約11万6千人で、蔵書冊数は、さいたま市、川口市に続く県内第3位となっている。</p> <p>所沢図書館のサービスネットワークは、本館と7つの分館から形成されており、本館は市の職員が運営する直営となっているが、7つの分館については、平成24年度より、運営に指定管理者制度を導入している。新所沢分館、所沢分館の2つの分館を統括分館とする2グループに別れており、受託会社はどちらも株式会社ヴィアックスである。</p> <p>貸出・調べものといった図書館の基本的なサービスは、各分館とも大きな差はないが、所沢分館においてはCD等の視聴覚資料を取り扱っており、館内視聴も行っている。また、平日は夜間19時までの開館を実施している。新所沢分館においては、平日は夜間21時までの開館を実施している。</p> <p>指定管理期間は平成24年度から5年間となっており、今年度で第1期が終了する。来年度からの指定管理者選定の事務を今年度行っているが、進捗状況については、後ほどお話をさせていただく。</p> <p>次に、所沢図書館の沿革についてだが、本館がオープンしたのは昭和55年5月で36年が経過した。</p> <p>この間も図書館を取り巻く情勢は大きく変化しており、本を貸し出すだけでなく、多種多様な市民ニーズに応えるためにも、時代に即した新たな図書館像をめざす必要がある。</p> <p>平成24年度に策定した「所沢市図書館ビジョン」の中で、所沢図書館の基本理念を「市民文化の創造と発展を支える地域の情報拠点である」と定義し、基本理念を実現するため、市民の暮らしに根ざし、親しまれ、役立つように「暮らしの中に図書館を」を基本方針とした。方針を支える大事な項目としては「学びと情報の拠点となる図書館」「誰もが使いやすく、市民と共に歩む図書館」「子どもたちの読書環境を大切にする図書館」「郷土の歴史や文化を大切にす</p>
-------------	---

る図書館」「効率的で効果的なサービスを提供する図書館」を5本柱とした。所沢市の図書館運営は、市の基本的な計画のほか、この「所沢市図書館ビジョン」「子どもの読書活動推進計画」をもとに運営している。

なお、計画期間がどちらも30年度までとなっているので、来年度以降「第2次所沢市図書館ビジョン」「第3次子どもの読書活動推進計画」策定に向けた準備を進めていく予定である。

次に、本館を含めた所沢図書館の特徴的なサービスについてご案内させていただきます。

所沢図書館本館と7つの分館は、資料の選定・購入を一元化しており、貸出用図書等の所蔵館を固定せず、返却された館の蔵書となる「所在館方式」を取っており、全館を一館と見なした統合的な運用を行っている。

また、所沢市では、コンビニエンスストアでの図書等取次ぎ事業を実施しており、図書館の本館・分館から配送した図書などが受け取れるようになっている。

この2点は、所沢図書館全館の特徴的なサービスとなっている。

さらに、松井小学校にある松井小学校図書館は、公共図書館機能のある学校図書館となっており、窓口で予約図書の受取や返却、利用者登録が可能となっている。

続いて、各担当グループから各担当業務について、事業報告とあわせて説明させていただきます。

主査

総務グループでは、図書館の事務事業評価にある3つの事業を担当している。

1つは分館施設管理運営事業で、分館運営が指定管理者制度に移行したことにより、市民サービスの向上・経費の削減が図られた。指定管理者の運営状況を点検するため、モニタリングの実施や指定管理者との調整に係る事務を行っている。

モニタリングは、地方自治法第244条の2第10項の規定に基づき、四半期毎に分館7館において実施している。今年度も最終の第4四半期には協議会委員の皆様にもご協力いただきたい。

2つ目の事業は、図書館施設維持管理事業である。館内外設備の維持管理・保守等に係る契約事務、清掃や警備、植木剪定の委託、消防設備・冷暖房機・エレベーター・自動ドア等の保守委託に係る契約事務を行う。

また、図書館利用者が快適・安全に利用できる施設環境の確保及び施設の維持向上を図るために施設及び備品の修繕事務を行い、平成27年度は、電灯設備の修繕等、整備対象は7件あった。

図書館本館は老朽化が進んでいるので、突発的な修繕も必要になる一方、財

<p>主査</p>	<p>政状況は年々厳しくなっている。</p> <p>3つ目の事業は図書館施設整備事業である。老朽化する施設について、所沢市公共建築物修繕計画に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るもので、平成27年度は本館受水槽及び高架水槽の改修工事が行われ、10月13日から11月30日まで休館となった。</p> <p>最後は総務事務全般である。主な内容は、図書館中長期計画の策定管理、図書館要覧・館内掲示物の作成等を担当している。「所沢市図書館ビジョン」については、平成30年度に次期ビジョンの策定を行うため、来年度は協議会の中でもアンケート調査などについてご審議いただくことになる。</p> <p>資料グループの業務は主に「図書資料収集・整理・保存事業」、「電算機の運用及び維持管理」、「図書館電算システム開発事業」である。</p> <p>図書館の蔵書数は、平成26年度は図書・雑誌が960,946冊、音響・映像資料が14,695点、合計で975,641点、平成27年度は図書・雑誌が974,709冊、音響・映像資料が15,295点、合計で990,004点と、毎年増加している。</p> <p>図書資料収集・整理・保存事業では、市民に役立つ情報を提供するとともに、知的財産である貴重な資料を次の世代に伝えるという公共図書館の役割を果たすため、その機能を十分に発揮できる種類と量の資料の収集、整理、保存等に努めている。</p> <p>また、所沢を中心とした地域のあらゆる分野にわたる郷土資料の遡及的、網羅的な収集に努めている。</p> <p>資料の購入は、市民の方からのリクエストや新刊本の出版情報、新聞などの書評を参考に、週に一回選書会議を開き、購入本の選定をしており、市民の方に委嘱している資料選定モニターから選定図書のリストが届いた場合も同会議で購入検討をする。</p> <p>資料の除籍は、図書館資料を適切に管理し、新鮮で調和のとれた蔵書構成を維持するため、所沢図書館除籍基準に則り行っている。</p> <p>除籍した資料は、汚損や破損のものなどを除き、図書のリサイクルとして館内のリサイクルコーナーへ出すなど活用をしている。</p> <p>電算機の運用及び維持管理は、図書館システムの運用及び維持管理である。システム維持管理体制の強化を図るため、担当者の育成が必要となっている。平成29年度に次期図書館電算システム再構築を行うため、準備をしているところである。</p> <p>主査</p> <p>一般奉仕グループは、主に大人を対象にした、貸出、返却、書架等の管理などを行っており、担当フロアは、主に2、3階のカウンター業務で、2階は貸</p>
-----------	---

出資料を取り扱っており、3階は調査研究のための参考図書・郷土資料等を所蔵し、レファレンスの受付・回答などを行っている。

利用者の方からの質問に対して、所蔵資料等によりその回答や文献案内などをする「レファレンスサービス」の充実には力を入れている。昨年度の回答件数が全館で961件、そのうち本館参考室の回答が431件。今年度の目標は、全館で1,000件以上を目指しており、10月現在700件ほどとなっている。

受け付けた事例の一部を「国立国会図書館レファレンス協同データベース」に毎年100件以上公開しており、図書館のホームページでもご覧いただける。なお、平成26・27年度においては、国立国会図書館長名で感謝状をいただいている。

また、利用者への課題解決支援サービスの充実を図ることを目的に、本館・所沢分館グループ・新所沢分館グループで分担し、毎年3種のパスファインダーを作成している。

「所沢市図書館ビジョン」の5つの柱に「誰もが使いやすく、市民とともに歩む図書館」というのがあり、そのうちの非来館型サービスの要となっている事業に「コンビニエンスストア図書等取次サービス」がある。図書館の開館時間内に利用困難な勤労者や学生等に対して、市内24時間営業のコンビニエンスストアで予約図書を受け取れるサービスを行うことで、「誰もが使いやすい図書館づくり」をめざすとともに、図書館利用者の拡大を図っている。年々微増であるが増加傾向にあり、利用者に必要なサービスポイントとして認識されてきたと思われる。重要なサービスのひとつととらえているが、店舗の都合で取次業務の終了となることがあり、サービスポイントの確保が、今後の課題となっている。

また、年代別利用促進事業として、高齢者向け各種図書リストの配布や出張おはなし会を行っている。出張おはなし会とは、市内の高齢者施設等へ出向き、すばなしや朗読、高齢者向け紙芝居などの実演を行うことで、図書館のPR、読書の楽しみを体験してもらうとともに地域連携・地域貢献となることを目指している。

障害者奉仕事業については、視覚に障害をもつ利用者に対して、録音資料の郵送サービスや図書等を朗読する対面朗読サービスを行っている。昨年度は、朗読を254時間行ったが、さらに周知に努め、利用の拡大を図りたいと考えている。また、平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行となり、今後どのような対応が可能か、サービスの提供の在り方など検討していきたいと考えている。

その他の事業として、教職員の職場研修・中学生の職場体験・大学生のインターンシップ等の受け入れや、ビジネスコーナーや健康コーナーの設置、利用

主査

促進のため季節の本などの特集展示の企画・運営なども行っている。

市民ボランティアが実行委員となって、職員と協同で毎年実施している「図書館まつり」は、今年で17回を迎える。のちほど、報告事項のところ、今年度の図書館まつりの実施について、ご案内させていただきたい。

児童奉仕グループについて説明させていただく。

本館では1階に「子ども室」があり、一般の利用スペースと離れていることから、小さなお子さんと一緒に来館する保護者の方も気軽に利用できるようになっている。

お配りした「所沢市立所沢図書館子ども向け利用案内～としょかんのつかいかた～」は、今年度新たに作成したもので、小学生が利用券を作成した際に渡している。外側の両面は全館共通の様式となっており、図書館の基本的な使い方と本の探し方が載っている。中の1枚は利用する図書館ごとに異なり、来館した館のフロア図を掲載し、子どもたちが自分で本を探せるように工夫している。また、行事の案内も掲載している。

カウンターでは、調べ学習の補助や読書相談も行っている。その他、児童書の選定・除籍、書架や書庫の管理に関することや、特集・季節の展示コーナーの企画・運営も行っている。

続いて、子どもの読書活動推進事業について説明させていただく。所沢市では、平成26年3月に「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定し「すべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるようにします」という基本理念をかかげている。この計画に沿って、関係機関が連携しながら子どもの読書活動の推進に努めており、本館児童奉仕グループはその中心的な役割を担っている。

また、全館で幼児や小学生対象の「おはなし会」や乳幼児と保護者が対象の「親子おはなし会」を定例行事として行っており、本館では、子どもにかがくの本に興味を持ってもらえるよう「かがくあそび」や、今年度から「かみしばいの会」も毎月開催している。その他、特別行事として、節分、ひな祭りなど季節に応じたおはなし会や読書スタンプラリー、リサイクル工作など、様々な形で子どもと本を結びつける行事を全館で行っている。平成27年度は、全館で620回の行事を開催し、16,000人以上が参加した。

子ども行事には、ボランティアの協力もいただいている。現在、絵本の読み聞かせをする「おはなし会ボランティア」と、昔話などの語りを行う「ストーリーテリング」のボランティアが登録している。それぞれ図書館が毎月1回勉強会を開催し、技術の向上に努めている。講師を招いての読み聞かせボランティア講座等は毎年開催している。また、4月の子ども読書週間や秋の図書館まつりなどの特別行事には、地域で文庫活動をされている団体にもご協力いただ

いている。

学校との連携・協力に関する事業については、司書が学校を訪問して、図書館の利用案内や本の紹介を行う「学級訪問」、調べ学習や学級文庫などに活用していただく「学校団体貸出」、図書館見学や中学生の職場体験の受入、図書館お薦めの本が掲載されたブックリストの配布などを行っている。ブックリストは、市内の小中学校の全児童・生徒に配布している。

「学級訪問」については、市内の小学校3年生全学級に伺っており、昨年度は、全館で小学校32校の3年生86クラス、1年生2クラスに訪問した。

また、読書活動の困難な子どもや、病院に入院していて本と触れ合う機会が少ない子どもたちのための支援も行っている。具体的には、小学校の特別支援学級を訪問しておはなし会の実施や、病院の院内学級と連携して、入院中の子どもたちへの出張おはなし会を毎月1回行っている。

関係機関と連携した事業も多く実施している。親子おはなし会では、保育幼稚園課と連携し市立保育園の保育士が終了後に育児相談なども行っている。

保健センターとの連携では、BCG接種会場の待合スペースで、絵本の読み聞かせやわらべうたの実施と、図書館の利用案内や親子おはなし会の紹介を行っている。4ヶ月検診では、「乳幼児を持つ保護者向けの利用案内」をすべての保護者に配布している。所沢市医師会との連携により、病院の待合室にも設置している。

子どもの行事に関する連携としては、生涯学習推進センターの「星空フェスティバル」への参加や、航空記念公園事務所と連携してのイベントの毎年実施、公民館の子育てサロン内で、赤ちゃんと保護者を対象に、絵本の読み聞かせや、わらべうたを行っている。

関係機関とは、所沢市子どもの読書活動推進連絡会を年3回開催し、継続的な情報交換・連絡調整に努めている。

学校を初め、関係機関との連携事業が高く評価され、平成28年度子どもの読書活動優秀図書館として文部科学大臣表彰をいただいた。

そのほか、子どもの読書活動推進に関する事業については、子ども向け広報紙「ほんのもりのトベア」の発行や、読んだ本の記録と感想を記入できる「どくしょてちょう」の配布などを行っている。

保護者等大人への普及・啓発事業については、今年度、小学校の読み聞かせボランティアをしている保護者を対象に、絵本の読み方の出前講座を実施した。また、幼稚園の保護者を対象に、幼児期の絵本についてと読み聞かせ方について講座を実施した。

今後の課題については、関係機関との更なる連携、特に特別支援学校や学級などとの連携や、障害を持つ子どもたちへの読書推進が課題となっている。

また、子ども司書講座の実施についても課題となっている。子ども司書講座

	<p>とは、読書に興味関心が高い子どもを対象に、図書の検索、貸出・返却といった司書の仕事についての講座を実施し、学んだ知識を学校図書館などで活かしてもらおうという取り組みで、実施に向けて検討中である。</p>
会長	<p>図書館の運営についてご意見などお願いしたい。</p>
委員	<p>レファレンスの一部公開とあるが、これはホームページに載せてあるものが一部公開ということなのか。</p>
主査	<p>データ登録したものの中から、個人情報に触れるような事例以外のものを精査して公開しており、ホームページでご覧いただけるようになっている。</p>
委員	<p>過去一年ではなくて、今までのものか。</p>
主査	<p>今までのもの全部である。所沢図書館のホームページの下の方にある「レファレンス事例集」というアイコンからご覧いただける。</p>
委員	<p>国会図書館の方にあるのか。</p>
主査	<p>国会図書館のデータベースにアップした事例にリンクさせて、所沢図書館ホームページから見られるようになっている。直接国会図書館のレファレンス協同データベースから展開していただいてもご覧いただける。</p>
委員	<p>子どもの読書活動推進計画があるわけだから、さらに充実してあらゆる機会と場所で、図書館が利用できるというようにしていただけたらと思う。子どもの視点からいえば、学校でも公立の図書館でも、利用したい本にアクセスできるシステムを作った方がいいのではないかと。個人は近くのコンビニで、子どもたちは学校で利用できるようなになればいいと思う。</p>
図書館長	<p>子どもたちへの貸出は、学校への団体貸出がかなり進んでいる。</p>
教育総務部長	<p>所沢図書館は分館が7館あるという事で数が多い。分館から近くの学校への情報提供や、学校に司書がないところにもブックトークという形で訪問している。子どもの読書活動推進計画に基づき子どもたちの読書がますます活発になるように学校と連携しながら進めていき、朝読、家読などとタイアップしながら本離れを防ぐようにしていけるといいと思う。</p>

委員	子どもたちが、本を読む機会は増えている。中学校は毎日朝10分間読書をしている。小学校の時に、本を読むという習慣をつけている。朝、本を読むことによって、気持ちが落ち着く。全部の学校で推進している。5年、10年先に、学校図書館と公立図書館がネットワークでつながると、さらに高まると思う。
委員	小中学校の端末から公立図書館の蔵書検索ができるとか、本を借りられるようなシステムを導入している自治体はあるのか。
図書館長	全国的なデータとしては把握していないが、他県ではあると聞いている。
委員	事例としては少ないということか。
図書館長	多い件数ではないと思う。
委員	<p>こうしたことは、本が売れる売れないことに関係するのか。本は消耗品だと思う。しまっておくものではなく、使ってなくなっていくものだと思う。また、電子書籍の需要が大きくなっていくことが想定される中、図書館がどう取り組んでいくのかということは考えていると思うが、スマホで読める時代に、紙に印刷した本がどういう方向に向かっていくのか。</p> <p>学校教育に絞ったとして、本を読ませたいのか、図書館に行かせたいのか、文字から学ぶことをして欲しいのか、というところで目的が変わってくると思う。様々な要素がある中、様々な取組をしていくことが必要ではないか。</p>
図書館長	<p>所沢市では、「所沢市図書館ビジョン」を作成しており、目標や方針などを定めている。社会情勢の変化などを考慮するとともに、委員の皆様のご意見を参考にしながら、より良いものにしていきたいと考えている。</p>
会長	<p>(2) その他</p> <p>委員の皆様のそれぞれのお立場からのご意見など伺いたい。</p>
委員	インターネットが本よりも身近に感じられているのが現状。本は自分の見たいページだけでなく、他のところも見られるというのが良さであり、有効活用できる点だと思う。読み聞かせやパネルシアターが子どもたちは好きである。
委員	個人的な考えとしては、小さい頃から親子で本を読み、大人になって図書館に足が向くような子どもが育つと良いと思う。指定管理者からも学校図書館へ

<p>図書館長</p>	<p>のアドバイスをいただくとありがたいと思う。</p> <p>指定管理者としても、公共図書館なので学校図書館へのアドバイスはなかなか難しいと思う。学校と図書館とが連携して、子どもの読書活動を推進しているので、図書館と学校教育課とが相談の上で連携していきたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>身近にある公民館で活動しているが、高齢の方が図書館へ行くのは歩くのが大変だったりするので、公民館に本があればより活用できるのではないかと感じる。</p>
<p>委員</p>	<p>今の親は働いている方がかなり多いため、子どもを寝かせる時に読み聞かせをするような事はなくなってきている。家で読書の習慣をつけることは、難しいのが現状である。読書離れにならないようにできればと強く感じる。</p>
<p>委員</p>	<p>知識を求めるとなると、インターネットに勝るものはない。本は、論文を書くために読んでいるようなもので、自分のためには読んでいない。紙媒体の本を読んでほしいとなると、一年に一冊で良いというようなことを考えてもいいのではないと思う。</p> <p>高校教師からスタートし、中学、大学、小学校も経験している。読書の傾向を見ていると、日本は少し特殊かなと思う。入試が関係しているかと思う。物理的に「本のない図書館」というのを試行してもおもしろいかなと思う。</p> <p>例えば、電子書籍を有料でも無料でもいくらでも読めるなど。インターネットは5分で知識が終わる子が多い、色々幅を広く知っているがそこで終わってしまう。そこをきっかけに、図書館へどう誘導するか考えるというのが課題である。</p> <p>私は、図書館も利用するが、基本書店である。図書館の良いところは、雰囲気があって歴史がある。近代的なところではなく、木造の凄いいところも良い。ある本を探しに行ったところから、まわりの本を見て、タイトルを見て、面白いなというように広がっていく。それを味わってほしいと思う。そういう誘いがうまくできれば、図書館の何分の一の仕事は終わったような気がする。</p>
<p>図書館長</p>	<p>6 報告事項</p> <p>(1) 指定管理者選定の進捗状況について</p> <p>現在の指定管理期間も今年度で第1期が終了となり、来年度からは第2期目に入るため、今年度中に選定の事務を行っている。</p> <p>第1期の指定管理による運営の状況については、平成27年度の第1回から第3回の「所沢市立所沢図書館協議会」でもご協議いただき、現状として各分</p>

	<p>館が指定管理者により円滑に運営されていることをご確認いただいたことから、29年度以降も指定管理者による運営を更新することとなった。</p> <p>2期目の期間は、第1期と同様に5年間という複数年契約での更新とし、募集方法は新所沢分館グループと所沢分館グループの2グループに分けての公募、選定方法はプロポーザル方式とした。</p> <p>公認会計士、司法書士や市の職員で構成された「指定管理者選定委員会」により、4月から7月までの会議を経て7月に候補者を選定、教育委員会会議、9月市議会へ議案を提出し、無事可決され、指定管理者が決定した。第2期目の指定管理者は、現在と同じ株式会社ヴィアックスとすることが9月議会で議決されている。</p> <p>2グループに分けて指定管理者を公募したが、結果的にはヴィアックス1社の評価が突出して高く、図書館への指定管理者制度導入の目的でもある「良質かつ均質なサービス提供」という観点から、両グループとも株式会社ヴィアックスが指定管理者として選定された。今後は、指定管理者と協議し、年度内に契約に当たる協定を結ぶ予定である。</p> <p>(2) 利用者懇談会等について</p> <p>図書館に関心をお持ちの市民や利用者の方から直接ご意見を伺い、今後の図書館運営の参考にし、サービスの向上を図る目的で開催している。</p> <p>今年は、11月27日(日)午前10時から予定している。各分館でも例年どおり、2月3月に開催の予定。</p> <p>委員</p> <p>例年どれくらいの方が出席しますか。</p> <p>図書館長</p> <p>多くは参加されていない。昨年は5人、各分館でも10人で、周知に課題があると感じている。</p> <p>主査</p> <p>(3) その他</p> <p>事務局より、図書館まつりについて連絡。</p> <p>本館では、「ドキドキ、わくわく、としょかんで楽しもう!」をテーマに、11月18日のイベント「宮沢賢治の秩父探査」を行い、11月19日、20日に開催予定。「大人のための朗読会」「詩を書こう詩を読もう」「ピブリオバトル」などを企画している。</p> <p>会長</p> <p>以上で議事は終了する。</p>
--	--

副会長	<p>7 閉会</p> <p>新しいメンバーでの開催となった。活発な意見が出て有意義な会であったと思う。</p> <p>視覚障害者に対応する立場からお話させていただく。図書館では、視覚障害者に対面朗読や図書の貸出を行っている。あらゆる障害を持った方、重複されている方、高齢者も来ることが困難になる、読みづらくなる方もいる。施設に出向いて行くのも必要かなと思うが、閉じこもっている方もいるので、障害者基本法が変わったこともあり、図書館としてどのようなサービスができるかという事も視野に入れて、考えていただきたいと思う。</p> <p>以上で、会議を終了する。</p>
-----	--